

第10回チャンネル700番組審議委員会 議事録

ジャパンケーブルキャスト株式会社
チャンネル700事業推進課

1. 開催日時 平成31年2月22日(金) 11:00~12:50
2. 開催場所 本社 (東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館8F) A・B会議室
3. 委員 総数 8名

出席委員数 8名

● 出席委員 (敬称略、氏名50音順)

株式会社ニューメディア	月刊ニューメディア代表発行人	天野 昭
立教大学	現代心理学部映像身体学科 教授	佐藤 一彦
株式会社ソラシア・エンタテインメント	シニアプロデューサー	関島 雅樹
東京ケーブルネットワーク株式会社	代表取締役 社長執行役員	土井 良一
株式会社ビデオ・テック	代表取締役	平石 能敬
株式会社 WOWOW プラス	代表取締役社長	牧野 力
株式会社秋田ケーブルテレビ	代表取締役社長	松浦 隆一
株式会社野村総合研究所	ICT メディア・サービス産業 コンサルティング部 プリンシパル	山口 毅

● ジャパンケーブルキャスト (JCC)

代表取締役社長 兼 COO	大熊 茂隆
営業本部 副本部長	中川 実
コンテンツ営業部 部長	
コンテンツ営業部 副部長	岩浪 正純
チャンネル700事業推進課 課長	
チャンネル 700 事業推進課	保坂 淳
チャンネル 700 事業推進課	牧野 隼也
チャンネル 700 事業推進課	栃木 弘之
チャンネル 700 事業推進課	中川 洋一朗
チャンネル 700 事業推進課	安藤 木乃美

4. 内容 (1) 番組審議委員の紹介
 (2) 今年度の取り組みについて・700 編成分析結果
 (3) 配信映像ダイジェスト上映
 (4) 番組審議・意見交換 (次ページ以降参照)

5. 番組審議等

25分ほどの配信映像ダイジェストを視聴後、内容を審議し全委員から「問題あり」という意見はなかった。放送内容は以下の通り。

項番	権利元名	番組名
1	南九州ケーブルテレビネット	新・霧島放浪記 ～鹿児島県キリシマ発のバラエティ番組～
2	伊那ケーブルテレビジョン	いなねこのとおり道
3	ベイ・コミュニケーションズ	HYPER DASH 基地
4	秋田ケーブルテレビ	スポコンチャンネル
5	仙台 CATV	仙台発！地域密着・音楽情報番組 BONBON-TV
6	東京ケーブルネットワーク	神保町昭和歌謡倶楽部
7	JWAY	神保シェフと茨城をたべよう
8	ニューメディア 函館センター	山さんぽ
9	ケーブルメディアワイワイ	カミタビ
10	東京ケーブルネットワーク	東京ふるさとネットワーク
11	信越広域ネット	信越トライウォーク
12	アイ・キャン	岩国航空基地フレンドシップデー2018
13	アイ・キャン	歴史と文化薫る城下町いわくに
14	エルシーブイ	諏訪湖祭湖上花火大会
15	エルシーブイ	全国新作花火競技大会
16	ジャパンケーブルキャスト	インフォ チャンネル 700
17	ジャパンケーブルキャスト	オートボックス全日本カート選手権
18	ジャパンケーブルキャスト	激闘！オセロシリーズ
19	ジャパンケーブルキャスト	伊藤さとりと映画な仲間たち
20	ジャパンケーブルキャスト	寄席の時間
21	ジャパンケーブルキャスト	東京いろもの演芸劇場
22	ジャパンケーブルキャスト	情熱！日本武道館シリーズ
23	西尾張 CATV	尾張津島天王祭 宵祭
24	西尾張 CATV	尾張津島天王祭 朝祭
25	アイ・シー・シー	一宮七夕まつり
26	エヌ・シー・ティ	長岡まつり大花火大会 2018
27	秋田ケーブルテレビ	秋田竿燈まつり 2018
28	エヌ・シー・ティ	長岡まつり大花火大会 2018
29	エヌ・シー・ティ	片貝まつり 浅原神社秋季例大祭奉納大煙火

【チャンネル700に関する主な提言・意見交換】

- 委員 過去に埼玉県のアマチュアビデオアワードの審査員をした経験がある。
クオリティが高いため、こういったところからコンテンツを集めてもいいのではないか。制作者も自分の作品を全国に流す機会であるため、交渉次第で低コストで入手できる可能性がある。
- JCC アワードを作るなどして募集してみるのもよい。
今後検討。
- 委員 今後チャンネル700はより鮮明なチャンネルプランを求められる。
地方のCATV局も質の高いコンテンツを制作してくると考えられるので、HD化に留まらず4K・8Kで映画を流す、4K・8Kでのライブ放送など思い切ったプランを今から検討していく必要がある。
- JCC チャンネルとして番組の質を高めたり、魅力的な編成をしていく動きと同時に700のことを周知してもらうために、プロモーション方面からのアプローチも必要。
- 委員 共同制作や自主制作の取り組みは今後も続けていった方がよい。
フレンドシップやカートのようなコンテンツは見たい人は必ずいるが、どこでやっているか知らない人が圧倒的に多い。
JCCガールズのSNSで伝えていくというのも有効な方法であるが、彼女たちに紐づく人たちだけでなく、コンテンツに響く人たちがどんな人なのかを見定めて的確なPRをしていくべき。
- 委員 「チャンネル700」という名称を変更する予定はあるのか？
- JCC 検討はしているが、チャンネルスタート時にジャンルに縛られないようにということで今の名称になった。今後訴求していかなくてはいけない中で、チャンネルの色が見えてくれば変更する可能性はある。
HDでは500番になるがこのままいく予定。
- 委員 各CATV局から番組をもらう中で、700側から改善点を伝えたりアドバイスをするとコミュニケーションはとっているのか？
- JCC 全てではないが、共同で制作させていただくものに関しては制作サイドに入らせてもらい議論させていただくことはある。
今後、局さんによってはより番組の核心的なところや技術的な面についてもコミュニケーションをとっていきたい。

- 委員 「他ではみることができないもの」というコンセプトを掲げるのであれば
もっといい意味でオタクの人が満足するレベルの番組にするべき。
今の番組は中途半端になってしまっている。
- 委員 例) フレンドシップであれば戦闘機の破壊力やどこで活動しているかなど
おまつり中継は、生中継のみで終わってしまうとあまり意味がない。
参加者の方々も見るできるように再放送も検討すべき。
- 委員 権利関係をもう一度洗い直して過去のコンテンツに目を向けてはどうか。
低価格で調達できる可能性がある。
視聴者の年齢層が上がっている現状の中で「男はつらいよ」などの
過去の名作を放送することができればチャンネルのアピールにもなる。
- 委員 地方のスターを使った番組作りをしてみてもどうか。
絶対に使わない人を使ってみることで地元を盛り上げることにも繋がり、
くまモンのように大資本がなくてもアイデア次第で化ける可能性がある。
- 委員 現状4Kで撮影している番組がいくつかあったが、4Kらしさがなかった。
人を映しすぎていて、うるさい印象があった。
綺麗な風景を映す落ち着いた番組の方が必要なのではないか。
2Kと4Kの編成を分けるのであれば、しっかりとした差別化が必要。

以上